

様式第1号（第5条関係）

会議概要

会議の名称	令和2年度第1回久喜市生涯学習推進会議
開催年月日	令和2年9月29日（火）
開始・終了時刻	午後2時00分から午後3時15分まで
開催場所	中央公民館 視聴覚室
議長氏名	宮内 智
出席委員（者）氏名	明石實正、伊東堯司、井上日出子、影山悦夫、 後藤悦子、小山将史、篠原吉則、島田俊雄、 杉村榮一、田沼勝子、田村佳代子、中里厚子 中村喜美子、長谷川信子、宮内智、森田剛夫、 諸橋美津子、山崎敏子
欠席委員（者）氏名	今村望太郎、長島一枝
事務局職員職氏名	野原教育部長、吉澤教育副部長、齋藤参事兼生涯学習課長、渡辺指導主事兼社会教育主事兼課長補佐兼係長、武藤主任、芦澤主事
会議次第	（1）議長・副議長の選出について （2）久喜市生涯学習推進会議の役割について （3）生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」について （4）生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について
配布資料	・次第 ・久喜市生涯学習推進会議委員名簿 ・「まなびすとフォーラム」報告書 ・第10回生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について ・生涯学習推進会議の役割 ・久喜市生涯学習推進会議条例
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0人

様式第2号（第5条関係）

発言者・会議のてん末・概要	
司会	
芦澤主事	<p>ただ今から、令和2年度第1回久喜市生涯学習推進会議を開催いたします。ただ今の出席者は18名でございます。この人数は、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第2項の規定に基づきまして、委員の過半数の出席になりますので、当会議が成立することをご報告いたします。</p> <p>本日は、令和2年度最初の会議でございますので、事前に皆様に2点ご了承いただきたいことがございます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>1点目は、会議の進め方等について説明させていただきます。久喜市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき、審議会等の会議は原則公開とさせていただきます。公開の会議につきましては、傍聴者の希望者がいれば認めることとしております。本日の傍聴者は0名となっております。2点目は、会議録の作成についてでございます。会議は、審議会等の会議の公開に関する条例に基づき、会議録の作成及び公開を行うことになります。会議録は30日を目安に、公文書館の閲覧室への配架及び市ホームページで公開することとしております。会議録作成のため、録音をさせていただいております。この録音の際に音声を拾いやすいように、委員の皆様の発言の際には、マイクを使用していただきますようご協力を願いいたします。マイクランナーが発言する方もとにマイクお持ちいたしますので、発言はマイクが到着するまでお待ちください。</p> <p>本日の資料を確認させていただきます。本日の資料は、「次第」、「生涯学習推進会議委員名簿」、「資料1、第10回久喜市生涯学習研修大会まなびすとフォーラム報告書」、「資料2、第10回生涯学習推進会議まなびすと久喜について」、「資料3、生涯学習推進会議の役割」、「資料4、久喜市生涯学習推進会議条例」となっております。新規の委嘱者の方々には、「久喜市生涯学習だよりまなびすと久喜第19号」「久喜市生涯学習推進計画まなびすとプラン」、「第2期久喜市教育振興基本計画」、「久喜市のコミ</p>

ユニティ・スクールのチラシ」もお渡ししております。また、債権者登録がない方については、債権者登録申請書もお渡ししております。もし、お手元にない方がいらっしゃいましたら、事務局まで申し出ていただきたいと存じます。

本日は委員の改選後初めての会議となりますので、議題に入る前に、ここで自己紹介をお願いしたいと思います。なお、お手元に、委員名簿をお配りしてありますので、あわせてご覧いただきたいと存じます。それでは、マイクをお持ちいたしますので、名簿の1番、明石委員からお願ひいたします。

<各委員自己紹介>

司会

芦澤主事

ありがとうございました。どうぞ、よろしくお願ひいたします。
なお、今村委員、長島委員につきましては、本日欠席の連絡を
いただいておりますことを、ここでご報告させていただきます。
続きまして、事務局の職員を紹介させていただきます。

<事務局職員自己紹介>

司会

芦澤主事

野原教育部長、吉澤教育副部長におきましては、この後の公務
のため、ここで退席いたします。

<野原教育部長、吉澤教育副部長退席>

司会

芦澤主事

続きまして、議題に入りたいと思います。議事進行につきましては、議長が進行を行うこととなっておりますが、委員の改選ということで、現在、議長、副議長が不在となっております。このため、議題（1）にございます通り、この後、議長、副議長の選出を行いたいと存じます。

議長、副議長が選出されるまでの間、齋藤課長に仮議長をお願いしたいと思います。それでは、齋藤課長、お願ひいたします。

仮議長

齋藤課長

改めまして皆さんこんにちは。着座で失礼します。それでは議長、副議長が選出されるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。議題の（1）、議長及び副議長の選出についてでございます。議長及び副議長の選出は、久喜市生涯学習推進会議条例第4条第

2項の規定により、委員の互選により選出するものとなっております。まず、議長の選出につきまして、委員の皆様からご推薦等がございましたら、お願ひいたします。

明石委員 はい、今までやっておられた平さんとともに、宮内さんがずっとやっておられたので、その辺の事情、問題点もわかっているので、宮内さんを推薦したいと思いますけどいかがでしょうか。

<拍手>

仮議長

齋藤課長

皆様からの拍手が盛大でございました。今、宮内委員ということでお話がありました。宮内委員、お願いできますでしょうか。

宮内議長

はい。

仮議長

齋藤課長

ありがとうございます。それでは、議長につきましては、宮内委員さんにお願いしたいかと存じます。

続きまして副議長の選出でございます。委員の皆様から、同じようにご推薦等がございますでしょうか。

明石委員

すみません何度も。市民大学とかそういう関係の方で、島田さんを推薦したいと思うのですけれどもいかがでしょうか。

<拍手>

仮議長

齋藤課長

ありがとうございます。皆様から先ほどと同じように拍手をいただきました。島田委員ということなのですが、島田委員の方でお引き受けはよろしいでしょうか。

島田委員

はい。

仮議長

齋藤課長

ありがとうございます。それでは副議長に島田委員ということで、お願いしたいと存じます。それでは議長には、宮内委員、そして副議長には島田委員をということでお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。

皆様のご協力をいただきまして、議長、副議長がスムーズに決定することができました。以上をもちまして、仮議長を解かせて

いただきたいと存じます。どうもありがとうございました。

司会

芦澤主事

それでは、ここで新たに選出されました、議長並びに副議長から就任のご挨拶をいただきたいと存じます。宮内議長からお願ひいたします。

宮内議長

はい。改めましてご指名いただきました宮内でございます。よろしくお願ひいたします。先ほど明石委員からお話がありましたように、先輩方であります平議長、原嶋副議長のように皆さん10年を経過しますと、この審議会は参加できないということになってしまいまして、引き継げと言われてしまいましたので引き受けさせていただきました。生涯学習推進プラン、今お手元にあると思いますけども、これは10年計画ということで、平成30年の時に見直しを行っております。学びのまちづくりということで、基本的な目標「まなぶ、いかす、つなぐ、ささえあう」の4つの項目を中心に行なっておりました。これも10年ということで、表紙に書いてありますように、2022年には改正しなくてはいけないことになります。これには是非皆様方もこの計画をどうするかっていうことも宿題になってくるというふうに思っております。それから、先ほど市長からもお話をありましたように、推進会議ということで、生涯学習センターの件をいろいろお願いしていたところだったんですけども理科大の跡地は断念ということで、令和3年度に、鷺宮の4階5階を会場で生涯学習センターという話を基本計画でいただいております。是非この実現に向けて、皆さんの意見を取り入れてよりよいものを作るように頑張っていきたいと思っています。そんな形で、よりよい生涯学習推進のために、一緒に活動していただければと思っております。これから運営方法、皆様にご協力をいただきたいと思いますので、是非よろしくお願ひしたいと思います。

司会

芦澤主事

ありがとうございました。次に、島田副議長、お願ひいたします。

島田副議長

島田です。よろしくお願ひします。私、生涯学習推進会議は初めてなんですが、定年後に高齢者大学30期、市民大学18期ということで、現在は市民大学校友会の会長を務めております。あ

とは学校関係で、本町小なのですが学校運営協議会の委員というようなことで、現場でいろいろやっていますので、これらの経験生かしてこちらの方で仕事ができたらいいなと思っています。ひとつよろしくお願ひします。以上です。

司会

芦澤主事

ありがとうございます。ここからの議事進行は、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第1項の規定により、宮内議長にお願いいたします。

それでは宮内議長は、前の席にお願いいたします。

宮内議長

それでは次の議題の方に移らせていただきたいと思います。

議題にありますように（2）「生涯学習推進会議の役割について」こちらの方、事務局より説明の方よろしくお願ひします。

渡辺課長補佐兼係長

はい。それでは皆様改めまして、こんにちは。生涯学習課の渡辺と申します。私の方から生涯学習推進会議の役割ということで、お話をさせていただきます。本日は、1、社会教育と生涯学習、2、生涯学習推進会議の役割、3、今後の主な取り組みについて、ということで、大きく3つの内容を中心に話を進めて参ります。

まず初めに変化する社会情勢につきまして少し触れたいと思います。私が申し上げるまでではないかと思いますけれども、1つ目に少子高齢化、人口減少が挙げられます。総務省が公表した2020年1月1日時点の住民基本台帳の人口ですと、前年に比べ、日本人の住民が50万減少し、外国人住民が20万人増加して、1億2713万人となりました。2009年をピークに、日本は人口減少社会に突入しておりますが、日本人の人口の減少幅が、50万人を超えるのは初めてとのことです。年齢階級別の人口構成を見ましても、日本人は団塊世代が含まれる、65歳から74歳、その子供世代に相当する40歳から54歳が多くなっているということで、それより下の世代は少ない、少子高齢化となっております。6月6日の新聞にはですね、出生率が1.36ということで、4年連続で低下したという報道もございました。まさに人口減少社会、もう皆様ご承知の通りかと思ひますけれども、この先進んでいくことが伺われます。

2つ目に挙げられますのは、急速な情報化、人工知能の技術革

新です。インターネット上でデジタル化されたサービスなどの流通が加速する今、こうしたデジタル経済をベースにした新しい技術革新が急速に進展し、経済社会の大きな変化を引き起こしております。これら、物のインターネット化、IoT、ビッグデータ、人工知能、AIといわれるものですね。ロボットなどの新規技術であり、第4次産業革命とも言われております。少子高齢化、人口減少が進行する中で、我が国がこうした技術革新に迅速かつ適切に対応できれば、人手不足を克服し生産性を向上させることで、豊かな国民生活が実現していきます。これは働き方改革の推進にも繋がります。本日は情報機器の方も取り入れまして、会議システムを取り入れております。審議会の会議録作成にあたりまして、今これもAIで私の言葉も文字化されるものが導入されておりまして、これも働き方改革の1つに繋がっております。

そして、3つ目に子供たちの現状と取り巻く環境です。新型コロナウイルスが引き起こした休校によりまして、学校教育にも大きな変化がありました。ギガスクール構想の早期実現です。オンラインによる学習が始まりました、これからはオンライン学習と対面学習のハイブリッド化が今後の教育に求められております。

間もなく9月も終わり、10月を迎ますが、1年前の10月12日は、まだ記憶にも新しい台風19号による避難勧告が出された日から1年経ちます。今年も7月の長期にわたる梅雨に加え、8月の異常な暑さと社会情勢の変化に自然の変化も加わりまして、まさに将来の変化を予測することが困難な時代となってきております。それでは、次のスライドになります。改めてですけれども、久喜市についてご説明いたします。平成22年に久喜市、菖蒲町、栗橋町、鷺宮町、1市3町が合併し、久喜市となりました。令和元年度は合併10周年の年でもありました。8月1日現在の人口がそこに記されております。また市内の小学校、中学校の数は34校でございますが、来年度からは江面第二小学校と第一小学校が統廃合ということで、22校の小学校数になっていきます。久喜市の生涯学習としてお伝えしなくてはならないのが、久喜市放課後子ども教室、そしてコミュニティ・スクールです。

放課後子ども教室はゆうゆうプラザとして親しまれ、昨年度は開設15周年事業として、11月23日に毎日興業アリーナで記念式典と子どもまつりが開催されました。このゆうゆうプラザを支えているのは、各学校の地域に住む実施委員、サポーターとい

った方々です。皆様の中にも、ゆうゆうプラザに関わっていらっしゃる方もおられることと存じます。放課後や週末等に小学校を活用して、安心・安全な子供の活動拠点や居場所を設け、地域の方々の参画を経て、子供たちに勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することで、子供たちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進しております。昨年度の登録児童数は3,247人で、全児童の45.5%。5割にはいかなかったんですけども、それに近い数字の小学校の児童が参加しておりました。今年度につきましては、23校中8校が中止を決定いたしまして、15校につきましては、感染症対策を講じた上で開校することとなっております。コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会が設置された学校のことと、地域とともにある学校を目指して、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づいた仕組みで、学校と保護者、地域の皆様がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで一緒に協働しながら、子供たちの豊かな成長を支えていくものであります。この中にもですね、ゆうゆうプラザ同様、委員としてご活躍されている方も多いかと思います。久喜市は34校すべての学校に学校運営協議会が設置されております。

それでは社会教育と生涯学習ということで見ていきたいと思います。まず社会教育でございますけれども、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動、体育及びレクリエーションの活動を含むことを言いまして、学校・家庭以外の広く社会で行われる教育のことを指します。生涯学習の範囲でございますが、平成20年の中央教育審議会の答申によりますと、各個人が行う組織的ではない学習のみならず、社会教育や学校教育において行われる多様な学習活動を含め、国民1人1人がその生涯にわたって自主的、自発的に行うことを中心とした学習活動のことで、式で表しますと、学校教育+社会教育+家庭教育+自己学習となるのではないかと思います。図でお示ししたものが次のスライドになります。根拠となる法令に従いますと、教育基本法第3条に記載がございます。右上に書いてございますが、国民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られな

ければならない、と示されております。付け加えるとするならば、生涯学習は学ぶものに着目した概念であり、教えるものと学ぶものによって行われる教育による行為として、家庭教育、学校教育、社会教育があり、学ぶものによる行為として自学学習があるということになります。本日お渡しいたしました、久喜市生涯学習推進計画2ページには、生涯学習とは次のように定義されております。子供から高齢者までのすべての市民の生涯にわたる学習が対象です。市民1人1人が自らの意思に基づき、生きがいのある充実した人生や心の豊かさを求めて、自ら進んで行う具体的な学習活動を言います。1つ目として、人々が生涯にわたって自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような社会の構築を目指す考え方としての生涯学習。2つ目として、学校教育、社会教育などの教育活動、自己学習活動、新しい知識、技能などを習得するための学習や日常生活での学習。それらの学習の総体としての生涯学習という、非常に幅広く位置付けられております。社会教育は人づくりの場であり、学習の総体として生涯学習をすることで、広い意味でまちづくりや地域づくりに繋がっていくことになります。2、生涯学習推進会議の役割に移らせていただきます。皆様に委嘱させていただきました生涯学習推進会議でございますけれども、こちらは条例による役割が位置付けられております。生涯学習推進会議条例に推進会議の所掌事項が2点挙げられてございます。その2点がこちらになります。まず1つ目が、生涯学習の推進のための提言に関すること。2つ目が、生涯学習の推進に関する基本的な指針の策定に関することになります。お手元にございます久喜市生涯学習推進計画は、平成30年度から令和4年度までの後期の基本計画で、基本目標は11ページにもあります通り、市民がつくる学びのまちづくりになります。ここにあります通り、久喜市は、「まなぶ、いかす、つなぐ、ささえあう生涯学習」を合言葉として、市民の自らの意思による学習のもと自己実現を図るとともに、市民の手による生涯学習のまちづくりを推進し、豊かな未来を創造する個性輝く文化田園都市、人と愛、水と緑、市民主役のまちの実現を目指しております。施策の柱が、様々な学びの提供、学ぶ。学んだことがいかせる場の整備、いかす。そして、学びでつなぐネットワークの推進、つなぐ。学びを支え合う体制づくり、支え合う。以上4つの柱となっており、これらが矢印でグルグル回っております

す。循環していくところが理想であり、具体的には、13ページにも示されております。本市の生涯学習の課題ですが、主に4つ挙げさせていただきました。学習機会の充実。学習成果をいかす環境づくり。学習情報の収集・発信、相談体制の充実。生涯学習推進体制の強化、が挙げられます。久喜市によさを生かす生涯学習としましては、本日お集まりの皆様で構成されている生涯学習推進会議、そして実働部隊の生涯学習推進部、歴史ある市民大学、高齢者大学、冒頭にも述べました、放課後子ども教室、コミュニティ・スクール、そして市民まつりなどが挙げられます。

今後検討し、取り組んでいただきたい事項としましては、4つございます。まず、生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」、生涯学習推進大会「まなびすと久喜」、「4地区祭りブース出展」、「シニア世代の地域デビュー支援」です。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、「まなびすとフォーラム」、「まなびすと久喜」、そして「4地区まつりブース出展」の3つにつきましては中止となってしまいましたので、「シニア世代の地域デビュー支援」について触れたいと思います。また、「まなびすとフォーラム」、「まなびすと久喜」につきましては、この後も議題にございますので、そちらでも詳しくお話をあります。シニア世代が地域デビューするにあたり、主なものとして考えられるのが、「まなびすとフォーラム」、「まなびすと久喜」そして「ゆうゆうプラザ」、「学校応援団・学校支援活動」、「市民大学、高齢者大学」、その他として、様々な地域の行事への協力などが挙げられるのかなと思います。

終わりになりますけれども、生涯学習推進をするにあたり厳しい現状にありますが、人との繋がりが希薄化になっていて、コロナ禍で新しい生活様式の中にある今だからこそ、できることを皆さんで模索していただき、市民が生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られるよう、皆様にはその中核としての役割を担っていただき、久喜市の生涯学習を推進していただけたら幸いでございます。

私からの説明は以上になります。ありがとうございました。

宮内議長

はい。事務局の説明で何かご質問やご意見がございましたらお願いしたいと思います。今スライド見ていただいたものを一応文章化したものがございますので、もう一度見ていただいてまたご

意見をいただければと思います。それでは続きまして、議題(3)の生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」につきまして事務局よりご説明をお願いしたいと思います。

渡辺課長補佐兼係長

はい。改めまして「まなびすとフォーラム」につきましてご説明いたします。お手持ちの資料1をご覧ください。こちら「まなびすとフォーラム」昨年度開催されたもののチラシ、そしてその次のページからは、報告書ということでお渡しいたしました。ちょっと印刷不鮮明なところがありますことご了承ください。「まなびすとフォーラム」につきましては、様々な生涯学習に取り組んでいる市民の方々がグループ討議を行いまして、それぞれの立場から、地域コミュニティづくりについて、意見交換を行っているものでございます。昨年度は森田委員のいらっしゃる鷲宮高等学校で校長先生としてお世話になりました。200人近くの大変多くの参加者がありまして大盛況に終わりましたが、今年度は実現叶わずということで見送られる形となりました。詳しいにつきましては、宮内議長の方からよろしくお願ひしたいと思います。

宮内議長

はい。お手元の資料1は、これはフォーラムのご案内のチラシでございます。これは公民館とかいろんな諸施設に配りましてご参加をお願いしたところでございます。昨年も17グループで開催いたしまして、話し合いをやっていただきました。ただ学生食堂をお借りしたのですけども、なかなか冷房設備とか時期柄ございまして大変だったんですけども、各グループごとに司会者、記録者、それから発表者を決めまして討議を行いました。その意見をラベルに貼りまして、各々ご意見が同じものをまとめていただいて、発表の場に持っていくというような形で行っております。内容につきまして、資料8ページをご覧になっていただければ。

これは各々グループのものをこのようにラベルに貼り付けまして、同じような意見のものを島で囲んでいって、そのグループの意見をまとめるというような形で作ったものでございます。こうしたものを作つて最終的には、各々グループの発表という形でやっていただきました。高校生でいろいろたくさん、発表の場にも出していただきありがとうございました。報告書も今までには、皆さんの意見をそのまま載せていましたけども、それはち

よつと意味がないということで、一応まとめっていう形で今回は報告書の方を作成させていただきました。内容については、ちょうど4ページにキーワード一覧ということで、各々のグループがどんな形をやったかということをまとめさせていただいております。またこの報告書は各学校、あるいは参加者の皆さんに配布という形で見ていただきまして、今後のお役に立てればということでやっているんですけども、なかなか発表の討議の場がないものですから、はつきり申し上げて報告書を作ったままで、終わってしまっているのが現状なのです。けれども、実際にいろいろご意見がありますので、是非これらを踏まえてまた次回の会議とか、発表の場でご活用いただければ一番良いのではないかというふうに思っております。このフォーラムの報告書の内容を見ていただければ、こんな形でやっていたんだということはご理解いただけると思います。いろいろアンケートにつきましても、皆さんがあのふうに思ってらっしゃるかっていうことをまとめた形で出してしておりますので、そちらの方でご覧になっていただければと思います。先ほど事務局からありましたように、今年も6月に栗橋北彩高校で第11回目ということで予定していたんですけども、コロナの関係がございまして中止という形で終わっております。是非これは皆さんからも、お若い方、それから学校の方、PTAの方、いろんな方のご意見を聞いて、今後もこの研修大会を実施していきたいと思いますので、是非ご協力のほどよろしくお願いしたいと思います。

こちらにつきまして何かご質問とかご意見ございますでしょうか。

是非推進会議の皆さんは開催の暁にはご参加いただきまして、活発なご意見をいただければありがたいと思います。よろしくお願いします。

フォーラムについてはよろしいですか。

ご意見がなければ、続きまして議題（4）生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について、ご説明の方を事務局よりお願いいたします。

渡辺課長補佐兼係長 はい。それでは資料2でございます。3ページにわたるもの、そして黄色のチラシが入っているかと思います。「まなびすと久喜」につきましては推進大会ということで、2日間で行われてお

ります。毎年策定する大会スローガンのもと、生涯学習に関わる市民が学習成果の発表等を行います。あわせて「まちづくりフォーラム」ですとか、各種イベント、また、出店等が出まして非常にぎわう行事になっております。昨年度は鷺宮西コミュニティセンターで実施いたしました。今年度も、2月に開催予定しておりましたけれども、開催の方は厳しいのかなというところで話が進んでおります。それでは、詳細につきまして、また宮内議長からよろしくお願ひいたします。

宮内議長

はい。資料2の方をご覧になつていただきまして、これは今年2月に行われました、「まなびすと久喜」の大会概要でございます。大会の趣旨、基本方針につきましては、指針にありますように、市民に広く生涯学習の楽しさやすばらしさを体験していただくとともに、日頃の学習活動の成果を発表する場であります。基本方針は、市民参加型ということで、体験の場、それから子供からお年寄りまでが誰でも参加できる楽しさ、ということで行いました。2月1日、2日、土日、鷺宮西コミュニティセンターおおとりでもって開催させていただきました。2日間なのですが、今までずっとこの中央公民館と鷺宮西コミュニティセンター、栗橋文化会館イリス、それから菖蒲文化会館アミーゴ、4地区を順繰りという形で開催をして参りました。初日は開会式と基調講演ということで、今回は、第1日目「明るい笑顔で今日もいい日」のテーマのもとに、女子栄養大学の非常勤講師でいらっしゃいました小松先生にご講演いただきまして、その後パネルディスカッションを地区の代表の方4名で、こちらにいます影山委員が司会という形で終了しております。参加者は中学生から高齢者までの多くの意見を反映するような形でいただいております。2日目は、10時から開催しました。ホールで市民の方の日頃の学習成果の発表の場ということで、発表していただきました。三味線、大正琴、あるいは踊り、フラダンス、落語、ヒップホップダンスなどの演技を行っておりました。また一般の方では太極拳、詩吟、フラダンスからコーラス、バンド演奏、ハーモニカ、特に今年度は鷺宮で行いましたので、鷺宮中学の郷土芸能部に参加いただいて、神楽の発表などをやっていただきまして盛況に終わりました。また他の会場では毎回出ていただいております、おもちゃの病院、それから折り紙、ロボット操作、絵手紙、おはなし会とか

ですね、あるいはおもしろ工作、アートバルーン、また、郷土の紹介ということで、栗橋地区の方とかあるいは久喜の観光ガイドさんに説明なども展示等でやっていただきました。また市民大学、高齢者大学の発表の展示、それからゆうゆうプラザの23校の作品のパネル展示を行っております。また喫茶でもコーヒーやパンの販売、また屋外では手打ちそば、うどんとか安倍川餅とか、そのようなものまでやっていただきました。ただこれ2月でございますので、外ですとかなり寒さがありまして、なかなか今後を考えなくちゃいけないというふうに考えております。こちらの準備は、毎年9月からもうすでにかかっておりまます。実行委員会組織を立ち上げまして、市民大学生のお力を借りて行っております。一番の苦労は、会場にあります駐車場の確保と資材の搬入ということで、毎回苦労しております。今回の鷺宮コミュニティセンターも駐車場が周りになくて、学校さんとかにもお借りして駐車場を確保しております。大体200台から250台は必要ですので、なかなかこの駐車場に苦労しております。また資材の方も、各公民館等はかなりの資材があるんですけども、鷺宮西コミュニティセンターの場合は、いろいろ資材がなくて、机や椅子などいろんなものを整備してやっております。そんな形でちょっと準備活動にはかなりの期間を用意しております。今年度の2月は菖蒲文化会館を予定していたんですけども、コロナの関係で9月から準備活動ができませんので、今回はやはり中止とさせていただいております。内容につきましては、黄色のチラシを期日の前にお渡ししておりますので、こんな内容でやっていますということ是非皆さんも見ていただきまして、今後もこの活動にご協力いただければありがたいと思っております。「まなびすと久喜」につきましては、以上でございます。何かご質問等あれば、お申し出ください。

一応、これが推進会議のこの計画に基づきまして、推進部が行っております。今年度も市内の「久喜市市民まつり」に「コスマスフェスタ」、「産業祭」、それから「やさしさときめき祭り」、こちらのもの4つすべて中止となってしまっておりまますので、実際には、今年は活動 자체がすべて休止となっております。推進部としては、それに向けて次年度に向けて今、体制を役員会で練っているところでございます。また決まりましたら、皆様にもご報告したいと思っております。

以上で今日の議題の終了という形になりますけれども、こちらの方で、私も議長の任を解かせていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。

司会

芦澤主事

ありがとうございました。それでは、4、その他でござります。宮内議長から、生涯学習推進会議と生涯学習推進部の内容についてご説明をお願いいたします。

宮内議長

度々申し訳ございません。推進会議と推進部につきまして、ちょっとお話をさせていただきたいと思います。皆様の今日の資料4、推進会議条例をご覧になっていただければと思います。こちらの第7条、裏面でございますけれども、「推進会議が策定した基本的な指針の実現に向けて市民の意見、要望等を取り入れ、市民の手による生涯学習の推進を行うために、生涯学習推進部を置く」となっております。推進部は今40名の定員なのですが、令和2年度は23名しかおりませんけれども、先ほど説明しました、「まなびすとフォーラム」とか「まなびすと久喜」についての事業推進のために努力しているところでございます。こちらの推進部と推進会議の内容なのですけれども、今お話した第7条にあるように、推進部は推進会議の決めた活動を行う組織なのですけれども、しかしながら推進部の委嘱は7月に行われているのですよね。推進部は推進会議の下部組織なのに、実際に皆さんの推進会議は9月なのですよ。これは正直矛盾が生じていると思います。少なくとも、委嘱の時期は同じにしていただかないとまずいのではないかということで考えているところでございます。少なくとも、同時期の委嘱ということを今、生涯学習課に要望しているところでございます。また、ちょっと今日資料は無いのですけれども、推進会議の幹事会という組織があるのですね。これは推進部会から3名が指定されているのですけれども、これも推進部が先にならないと、推進会議の皆さんにご提案する事項の推進会議ができないですね。これもちょっと矛盾が生じております。こちらの方についても、組織的なものを変更していかなければいけないと考えております。実は推進会議、本日委嘱をいただきまして第1回会議なのですけれども、推進会議は年間2、3回しかないんですね。これはもちろんそれに基づいて推進部の方は活動するわけですから、先ほどお話してるように、6月から「まなびすと久喜」

をやりますと、年間で20回から30回の活動ですね、いろんな大会を盛り上げてるわけですけども、その辺で、やはり推進会議と推進部の会議のあり方についても、ちょっと矛盾といいますか、推進部が全部やっていいのかと疑問に思います。「まなびすとフォーラム」も「まなびすと久喜」も、主催は推進会議ということになってるんですけども、残念ながら参加いただいている方は推進部に所属している人と、議長さん、副議長さんぐらいしかいないのが現状でございます。その辺を踏まえてもうちょっとこの辺を変えようじゃないか、ということで正直な話、去年の11月から代表に出ていただきまして、推進部と推進会議の中で打ち合わせをしております。いろいろこの条例も変えていかないと、先ほど申し上げたように、委嘱時期がずれているのではちょっと内容的におかしいということを生涯学習課さんと話をしているのですけれども、条例を変えるとなりますと、議会の承認が必要になってしまいますので、なかなか改正していくのが難しい状況なんですよ。是非、打ち合わせ会を今後継続しまして、よりよい統合とまでいくのかどうかわかりませんけども、皆様のご意見をいただきながら、推進会議と推進部の連携をうまく取り今後の会議を進めなければと思っております。皆様のご協力を是非お願いしたいと思いまして、申し訳ないのですがこういう執行の場をお借りしまして、お話をさせていただきました。皆様の方でご意見があれば、是非いただきたいと思うんですけど。

篠原委員

ちょっと教えて欲しいことがあります。渡辺さんでしたかね。生涯学習についてのお話をさせていただきましたが、その中の9ページの本市の生涯学習の課題。1から4が挙がっていますけれども、①は学習機能の充実。②学習成果を生かす環境づくり。③学習情報の収集・発信、相談体制の充実。④は生涯学習推進体制の強化、となっておりますが、これは一体何をやろうとしているのですかね、これすごく漠然としていますよ。これだと我々としてもこれ見て、ああそうですかとしか言えないですね。ですので、市として何をやっているのか。例えば小学校に行って、こういうことやっていますとか、それについてこういう課題がありますとか、ざっくりしすぎている印象を持ちました。できたら後でいいので、これ何を指しているのか詳しいものを教えていただけますかね。

渡辺課長補佐兼係長 はい。わかりました。簡単に伝えさせていただきます。やはり久喜市民の中には、まだまだ生涯学習をしていきたい人たちもいらっしゃると思います。そういった人たちにどう手立てをして学びの機会を充実させていくかということがまず一つ目でございまして、環境はそれに伴いまして、それをさせるために人材バンクというものがあったりですとか、あとではコミュニティ・スクール、ゆうゆうプラザ等いろんなものがございます。

そういうものをまだ知らない方もいらっしゃるので、そのような方々に、何かサポートをしていくことも必要なのかななど。もちろんそれは、今こちらにいらっしゃる皆様の中にも、ゆうゆうプラザですか、学校運営協議会の委員でご活躍されている方、またコミュニティ協議会等でも地区の代表者として、非常に推進的な活動されている方もいらっしゃいますので、そういった方々から広げていただけたらと思うのですが、行政としましても何かやっていかなくちゃいけないことがもうあるのではないかと、模索しているところでございます。また後程、詳細につきまして、細かく触れさせていただきたいと思います。

宮内議長 他にいかがですか。よろしいですか。
司会 では次に、事務局お願ひします。

芦澤主事 ありがとうございました。事務局からも2点、ご連絡がございますので、少々お時間をいただきたいと存じます。1点目ですが、公職者名簿の個人情報の登載の可否についてでございます。会議終了後、公職者名簿に皆様の氏名、住所、電話番号の登録をさせていただきます。住所と電話番号の記載を希望されない方は、会議終了後にお申し出ください。

2点目ですが、債権者登録についてでございます。債権者の登録が確認されていない方に、債権者登録申請書を配布させていただきます。こちらに登録された口座に、会議の報酬を振り込まれていただきますので、ご記入の上、後程提出お願ひいたします
以上となりますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。

伊東委員 はい。伊藤と申します。実はちょっと見たのですが、今日いただいた委員名簿の中を見ますと、残念ながら、菖蒲地区が、1人も入られてないんですね。合併して10年経過したわけですから、やはりバランスとしていかがかなと思いました。今回、菖蒲

地区の方が入っていませんけれども、次回はオール久喜市ということで4地区バランスよく入っていただきたいということをお願いしたいと思います。

渡辺課長補佐兼係長

はい。ありがとうございます。今、伊藤委員から、菖蒲地区がないということでございました。公募でも募集したのですが、結果的にいらっしゃらないということあります。今回、強いて言うのであれば、4番の本日欠席されております今村委員は、今年度から菖蒲東小学校の校長先生なので菖蒲地区ということで結果的に1名ということになります。確かに校長会以外の公募もしくは、社会教育委員等の選出から菖蒲地区の選出について配慮していきたいと思います。ありがとうございます。

後藤委員

議長さんの方から提案みたいな形で推進会議と推進部を合併の話で、ましてや推進部で40名の定員のところが、今23名しかいらっしゃらないということで、今年は特にコロナの関係ですね、大変だったんでしょうけども、推進会議は私もちよつと前から出させていただいているんですけど、年2回でお飾りになっているところがある気がするんですね。でしたら、推進部と一緒に活動して、皆さんで力を合わせてこの久喜市を盛り上げていけたらと、私は考えております。以上です。

宮内議長

はい。ありがとうございます。実質的なものが使えるような推進会議と推進部でありたいと思っていますので、先ほどご提案を申し上げたように、また皆様から何名か幹事として出ていただいて、その辺を生涯学習課と一緒に、内容変更できるかどうか、一概に来年すぐとか、何年後にできるってことではないと思います。先ほど申し上げましたように、条例で決まっているものですから、この改正というものについて、1度廃止しないと、次の段階には進まないというふうに思います。ただ、合併するかどうかはまだ先の話ですけども、一緒に生涯学習を担っていく方向がいいのではないかと考えておりますので、そのような形で進められればと思っております。

司会

芦澤主事

他に何かございますでしょうか。

長時間にわたりご協議ありがとうございました。なお、本日の会議録は事務局で作成し、議長に署名をいただき公開させていただきます。それでは閉会にあたりまして、島田副議長に挨拶をお願いいたします。

島田副議長

これをもちまして第1回久喜市生涯学習推進会議を閉会とい
たします。ご協力ありがとうございました。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和2年 10月 26日 宮内智

審議会等会議録

(注)特に署名等を要しない審議会等については、事務局名を記入する。